

平成26年第4回竜王町議会定例会（第4号）

平成26年12月19日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

- 日程第 1 議第 76号 竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第 80号 平成26年度竜王町一般会計補正予算(第6号)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第 84号 平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第2号)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 意見書第3号 米価下落等に関する意見書
- 日程第 5 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 6 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告
- 日程第 8 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 9 議員派遣について

2 会議に出席した議員（10名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
4番	岡山富男	5番	山田義明
6番	内山英作	7番	貴多正幸
8番	古株克彦	9番	松浦博
10番	(欠員)	11番	菱田三男
12番	蔵口嘉寿男		

3 会議に欠席した議員（1名）

3番 若井敏子

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	総務政策主監兼 産業建設主監	福山忠雄
住民福祉主監	松瀬徳之助	会計管理者	犬井教子
政策推進課長	杼木栄司	総務課長	奥浩市
生活安全課長	井口清幸	住民税務課長	知禿雅仁
福祉課長	田邊正俊	健康推進課長	嶋林さちこ
発達支援課長	木戸妙子	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	西川良浩
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	山添登代一
学務課長	深井実	生涯学習課長	竹内修

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、10人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成26年第4回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第1 議第76号 竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1 議第76号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第76号、総務産業建設常任委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 貴多 正幸

去る12月9日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第76号、竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月10日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、奥総務課長、図司総務課参事、中島行財政係長の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、平成26年8月7日に、平成26年度適用分として、民間給与との較差を埋めるため、若年層に重点を置きながら給料表の水準を引き上げるとともにボーナスの0.15月分引き上げ、及び通勤手当を民間の支給状況等を踏まえて引き上げるなどの人事院勧告がされました。ついては、本町職員の給与についても人事院勧告に準拠し、条例の一部を改正するものです。

なお、この条例改正については、公布の日から施行し、給料表の改正及び通勤手当の改正については平成26年4月1日から、勤勉手当の改正については平成

26年12月1日からそれぞれ適用されます。

主な質疑応答は、問) 今回の条例改正による引き上げ幅は。答) 平均で0.44%です。

問) 給料と手当、それぞれの増加額は。答) 一般会計で申し上げますと、給料が208万2,000円、期末手当が42万4,000円、勤勉手当が619万9,000円、通勤手当が71万円の増額になります。

問) 増額分はいつ支給するのか。答) 議決を経て、12月26日に支給の予定です。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第1 議第76号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第76号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議第80号 平成26年度竜王町一般会計補正予算（第6号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2 議第80号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第80号、総務産業建設常任委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 貴多 正幸

去る12月9日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第80号、平成26年度竜王町一般会計補正予算（第6号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月10日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、関係各主監及び課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成26年度竜王町一般会計補正予算（第6号）は、補正予算（第5号）までの歳入歳出予算の総額から4,322万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ64億5,648万9,000円に改めるものです。

主な内容として、歳入では、介護基盤緊急整備補助金、戸別所得補償経営安定推進事業補助金、財政調整基金繰入金、前年度繰越金の増額、介護施設等開設準備経費補助金、竜王インター周辺地区整備協力金の減額等です。

歳出では、町総合庁舎別館の火災に係る復旧等関連業務に伴い、総合行政システム等のサーバ機器のリース契約清算金から庁内グループウェア用パソコンの更新に係るリース契約完了に伴う執行残額を差し引いた電子通信機器等借上料の増額、農地法改正に伴う同システムの改修に要する農地等情報総合ネットワーク管理システム改修業務委託料の追加、岡屋交差点改良工事委託料については、設計段階において他の工事から出ることを想定していた土砂が、実際の現場施工を経た結果、不足することから土砂の掘削・運搬による増額、竜王IC周辺地区多機能グラウンド整備工事の契約締結を受け、執行残額の減額等の説明を受けました。

歳入補正予算の主なものは、介護基盤緊急整備補助金890万円の増額、介護施設等開設準備経費補助金107万4,000円の減額、戸別所得補償経営安定推進事業補助金775万円の増額、財政調整基金繰入金2,290万円の増額、前年度繰越金2,204万円の増額、竜王インター周辺地区整備協力金1億2,510万円の減額。

歳出補正予算の主なものは、電子通信機器等借上料2,060万5,000円の増額、地域おこし協力隊事業80万2,000円の増額、自立支援給付費1,500万円の増額、高齢者福祉施設等整備事業補助金782万6,000円の増額、農地等情報総合ネットワーク管理システム改修業務委託料324万円の増額、農地集積協力助成金515万円の増額、法人化支援事業補助金260万円の増額、

岡屋交差点改良工事委託料 640 万円の増額、竜王インターチェンジ周辺地区多機能グラウンド整備工事 1 億 3,150 万円の減額、人件費補正 954 万 7,000 円の増額。

主な質疑応答は、問) 岡屋交差点改良工事で 640 万円が増額されているが、県事業ではないのか。答) 国道 477 号の延長で橋梁をかけます。橋梁をかけるに当たっての車道は県事業ですが、歩道については町の工事となります。

問) 農地集積協力助成金 26 件、法人化支援事業補助金 6 件の内訳は。答) 農地集積協力助成金については、庄 19 件、鏡 1 件、岡屋 2 件、信濃 1 件、山中 1 件、七里 1 件、西川 1 件の計 26 件です。法人化支援事業補助金については、山中、小口、西川、西横関、須恵、東出の各生産組合等です。

問) 空き家清掃業務委託料は、地域おこし協力隊 2 名分のものか。また、場所は決まっているのか。答) 2 名分のものです。場所については現在検討中です。

問) 高齢者福祉施設等整備補助金が増額されているのはなぜか。答) 県補助金の補助単価が改正されたことにより増額になります。このうち、施設の開設準備に係る分について、当初の計画であった利用定員 9 名から 7 名に変更されたため、定員減少についての減額をし、結果 782 万 6,000 円の増額となります。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第 2 議第 80 号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって、日程第 2 議第 80 号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第3 議第84号 平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）**  
**（教育民生常任委員会委員長報告）**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第3 議第84号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○教育民生常任委員会委員長（古株克彦）** 議第84号、教育民生常任委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 古株 克彦

去る12月9日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第84号、平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月11日午前9時より第1委員会室において、欠席委員1名を除く委員5名出席のもと会議を開き、川部副町長、松瀬住民福祉主監、田邊福祉課長並びに関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）は、既決予算に歳入歳出それぞれ2,092万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8億6,143万2,000円と改めるものです。

補正予算の主な内容は、歳入では、国庫支出金として、介護給付費負担金が322万円、調整交付金が102万円、支払基金交付金が600万3,000円、県負担金が350万7,000円、一般会計繰入金として280万7,000円、繰越金が436万3,000円のそれぞれ増額です。

歳出では、今後の執行見込みに伴い、施設介護サービス給付費が1,840万円、介護予防サービス給付費が230万円、人件費補正が22万円のそれぞれ増額との説明を受けました。

以下は主な質疑応答です。

問) 介護施設に入って3カ月が過ぎると他の施設に移る方があるが、実態を把握できるのか。答) 入所して3カ月が経過すると退所する規定があり、次に他の施設への入所が非常に難しい状況下にあります。上手に次の施設を見つけて移っていかれる方もおられます。移動された方の実態は、施設の給付費の実態から把握できます。

問) 現在、利用施設は幾つあるのか。答) 本年度開設された介護老人保健施設、野洲の野洲すみれ苑(100床)、近江八幡のエスペラル近江八幡(120床)を含めて本年9月末現在で12施設あります。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

○議長(蔵口嘉寿男) ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(蔵口嘉寿男) ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(蔵口嘉寿男) ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第3 議第84号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長(蔵口嘉寿男) 起立全員であります。よって、日程第3 議第84号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 意見書第3号 米価下落等に関する意見書

○議長(蔵口嘉寿男) 日程第4 意見書第3号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

9番、松浦 博議員。

○9番(松浦 博) 米価下落に関する意見書の提出理由を申し上げます。

平成26年産米は、出回りからかつてない水準まで米価が下落し、生産現場では大きな不安と混乱が広がっており、とりわけ米を中心とする本県農業、特に担い手経営体にとっては、農業収入及び農業経営の打撃は深刻です。米価の安定は農家の経営安定や食料の安定供給のためにも極めて重要です。よって、国会及び政府においては、担い手が安心して農業を継続できるための適切な措置を講じられるよう強く求めるため、地方自治法第99条の規定により意見書を提出するのであります。

なお、意見書はお手元に配付のとおりでございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 提出者の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第4 意見書第3号を原案のとおり提出することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第4 意見書第3号は原案のとおり提出することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第5 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、松浦 博議員。

○議会広報特別委員会委員長（松浦 博） 議会広報特別委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成26年第3回定例会閉会後の平成26年10月1日午前9時より、8日午前8時30分より委員全員出席のもと、16日午前9時より委員1名欠席のもと、21日午前10時より研修会への車中にて委員1名欠席のもと、23日午前9時より正副委員長により委員会を開催し、議会だより169号の編集作業をし、11月1日に発行しました。

また、本委員会は、本定例会中の12月8日午前11時より、委員1名欠席のもと委員会を開催し、議会だより170号について、記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、平成26年度補正予算、条例の改正、委員会活動、一般質問、シリーズいきいき人生などで、14ページにまとめ、平成27年2月1日に発行することになりました。

あわせて、今後の本委員会の日程につきましては、12月25日、平成27年

1月8日、19日、21日と決定しました。

また、今年度、本委員会は、10月21日、22日の2日間、東京で開催された第81回町村議会広報研修会に委員4名と事務局1名が参加しました。伝わる広報づくりのための文章の書き方や紙面デザインの基礎知識、写真の生かし方を学び、そして全国の優秀な議会だよりを中心にしたクリニックにおいては、当町の議会だより168号についても直接に具体的な指導を受け、大変参考になり、今後の編集作業に改善できるところから取り組んでいきたいと考えております。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、松浦 博議員。

○地域活性化特別委員会委員長（松浦 博） 地域活性化特別委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成26年12月15日午前9時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、杼木政策推進課長、松木企業誘致担当課長、村田工業団地推進担当理事員、尾崎工業団地推進課長の出席を求め、町長挨拶の後、調査を行いました。

当委員会として、継続した懸案事項の調査であることから、進捗状況や変更事

項について報告します。

滋賀竜王工業団地の進捗状況について。

県土地開発公社事業の11月末の進捗状況は、祖父川大橋橋梁下部工事92%、工業団地敷地造成工事10%で、祖父川大橋橋梁上部及び岡屋交差点改良工事は順次本格稼働しています。竜王町事業の進捗状況は、多機能グラウンド整備工事45%、町道2路線工事約10%、岡屋仁殿下水道整備工事は路線工事進捗に合わせた工事進行となっています。

各工事現場の調査では、作業内容等の説明を受け、補正予算に係る工事変更箇所への質問に対して、橋梁下部工事の搬入土砂に関する変更内容について確認を行いました。

一方、企業募集については、11月6日東京でのびわこ立地フォーラム in TOKYOにて分譲予約受け付けの開始を宣言し、引き続き福岡・大阪で滋賀竜王工業団地投資セミナーを開催し、工業団地をPRしました。今後、平成27年1月30日まで分譲予約受け付け期間とし、公社に設置された審査会で事業予定者を決定し、3月には予約契約締結といった販売スケジュール、応募資格や事業者選考基準及び企業誘致活動の報告がありました。

主な質疑応答。

問) 企業誘致活動について、セミナー等3会場の様子はどのようなものだったか。答) 製造系企業のほか、建設業や金融機関・コンサル会社も参加されており、誘致活動により仲介・宣伝効果が期待できる。

問) 工業団地整備が進む一方で、名神竜王インター機能強化対策、住宅対策が進んでいない。答) インター機能強化は引き続き関係機関に要望していきます。住宅対策は、町総合計画に掲げる人口1万4,000人に向けて全力で対応します。

問) 山之上住宅地計画は、今年度中に進めると表明されたが、可能なのか。答) 複数社による開発ができるよう具体的なプランを研究し、努力しています。

問) 企業誘致活動について、トップセールスはどのようにしているのか。答) セミナーへ参加し、既に行っている。また、情報収集に努めて、県と密接に連携して、企業に働きかけます。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第7 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、小森重剛議員。

○議会基本条例推進特別委員会委員長（小森重剛） 議会基本条例推進特別委員会報告。

平成26年12月19日

委員長 小森 重剛

本委員会は、9月19日の委員会において、子ども議会の取り組みについて検討することと決定したことを受け、11月19日、委員長、副委員長、事務局2名とともに、子ども議会実施に伴う事前調査として、以前より子ども議会を実施されている多賀町議会の事務局を訪問し、取り組み状況について研修しました。

多賀町議会にあっては、本年7月に実施された子ども議会で第6回目を数えられる先進地です。議会事務局長から、実施日までの準備、関係各方面への周知事項、開催要項などについて資料、記録ビデオを参考に具体的な説明を受けました。

11月25日、教育委員会岡谷教育長に子ども議会の実施について、また町執行部竹山町長に町制施行60周年記念事業の一環として子ども議会を実施することについて、議長名で書面により支援、協力依頼を行いました。

12月9日、正副委員長と事務局長で、教育委員会部局岡谷教育長、山添教育次長、深井学務課長へ、また町長部局竹山町長、福山総務政策主監へ開催時期などについて事前調整と打ち合わせを行いました。

12月15日、委員1名欠席のもと委員会を開き、平成27年竜王町子ども議

会の開催要項（案）について協議を行いました。

開催の趣旨を、町制施行60周年を記念し、次代を担う子供たちが子ども議会を通じ、議会の仕組みを理解するとともに、竜王町の現状や将来について考え、意見を発表し質問する機会を通して、まちづくりへの関心、参画していこうとする意識の醸成を図る、また子ども議会にかかわる保護者を初め、議会をより身近なものとして捉まえてもらい、さらに開かれたものへとすることにより議会活性化につなげると決めました。

事前準備、開催日時、子ども議員の対象とする学校、学年、議員数及び選出方法については、多数の意見が出されたが、意見を集約し、開催日を平成27年3月21日とすることで、開催要項（案）、事前準備日程（案）等を作成し、関係部局と調整を図り、最終決定していくことを確認しました。

次に、12月17日開催された教育委員会の各校園長会議に委員長と事務局長が出席し、15日に当委員会で作成した子ども議会開催要項（案）及び事前準備日程（案）を提示、説明と協力依頼をしました。あわせて、同日、町長部局福山総務政策主監、奥総務課長に同様の内容で説明し、協力依頼しました。

今後、子ども議会の開催が単なるセレモニーに終わることなく、事前の学習会や研修会などさまざまな工夫をし、我々議員がかかわりを持っていくことで、議会を理解してもらい、身近なものとして捉まえてもらうよう計画することが最も重要であるとの認識を委員全員で確認しました。

以上、議会基本条例推進特別委員会報告とします。

本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めていますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

以上です。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。



**日程第 8 所管事務調査報告**

**(議会運営委員会委員長報告)**

**(総務産業建設常任委員会委員長報告)**

**(教育民生常任委員会委員長報告)**

○議長(蔵口嘉寿男) 日程第 8 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、山田義明議員。

○議会運営委員会委員長(山田義明) 議会運営委員会報告。

平成 26 年 12 月 19 日

委員長 山田 義明

本委員会は、10月27日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成26年第4回臨時会の提案事件について説明を受けました。提案された案件は、平成26年度一般会計補正予算(第4号)と工事請負契約の締結の2件で、会議録署名議員の指名、会期を10月27日1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、11月27日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成26年第4回定例会の提案事件について説明を受けました。

提案された案件は、条例4件、補正予算6件、専決処分2件、八日市布引ライフ組合の規約変更の議決1件、町道路線の認定・廃止・変更の各1件で計16件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を12月4日から12月19日の16日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、12月8日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、追加案件として提出される土地の取得2件について説明を受け、その議案処理について審査決定しました。

引き続き、本定例会第3日の会議の再開時間、9議員による一般質問14質問について、質問の順序等について審査決定しました。第3日の会議は午前9時か

ら再開し、会議は通しで行い、質問については質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

また、米価下落等に関する意見書提出を求める請願について、委員会への付託を省略することとしました。

本委員会は、本日午前8時30分より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、米価下落等に関する意見書の提出について説明を受け、審査し、本日の本会議で提案することとしました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めていますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成26年12月19日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る11月25日午前9時より、委員全員出席のもと、第1委員会室において、町執行部より竹山町長、川部副町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、井口建設計画課長及び関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

道路計画について。

井口建設計画課長より、道の駅取りつけ道路（町道山面鏡西線）並びに松が丘北側道路の進捗状況について説明を受けました。

町道山面鏡西線については、平成12年度に情報、歴史・文化、地域特産の発信基地として整備計画が進められていた道の駅かがみの里への町内からのアクセス道路及び国道8号への接続道路として路線認定がされました。その後、道の駅工事と同時期に測量及び設計が進められたが、当時、滋賀国道事務所においては、町道が国道8号及び国道施設であるトイレ情報館敷地に接続することについて、施設建設に支障があると厳しい見解を示したため、当路線がバイパスとして位置づけられることは非常に困難な状態となり、道の駅までの接続にとどめた形の計画となりました。

また、当路線周辺地域は、現地と公図とが合わない公図混乱地域であったため、平成16年ごろから平成20年ごろにかけて公図訂正のための立会や登記手続を実施していますが、境界については確定にまで至っていない箇所も残されています。

当時、国道8号に接続させることが非常に困難であることなどの問題点も含め地元自治会には説明がされており、その後においても利用者の増加に伴う夜間等における騒音問題、土砂災害警戒区域の指定等の新たな課題が加わっているが、道の駅オープンから10年が経過し、交通事情も当時とは変わってきているため、今年度については交通量調査を実施し、次年度については概略設計調査等を検討し、再度まちづくりに適した道路規模、路線法線の検討が必要であると考えられています。

次に、松が丘北側道路については、昭和56年の名神竜王インターチェンジの供用開始に合わせて整備された町道小口八重谷線のバイパス道路として計画され、第6次国土利用計画、都市計画マスタープランにおいて計画の位置づけがなされています。

しかしながら、当バイパスは全長約1.1キロメートルあり、道路整備に当たっては多額の事業費を要すること、また道路計画箇所には公図混乱地域及び文化財エリアが存在すること、その他河川の横断等課題が多くある中で、構想としては位置づけられているものの、事業実施にまでは至っていません。

今後、竜王インターチェンジ周辺の機能強化と市街化区域である小口工業地域の利活用を図る観点から、町道小口八重谷線バイパスについては、他事業との調整を図りながら全体を踏まえて引き続き検討が必要であると考えられています。

主な質疑応答。

問) 松陽台安養寺線が完了したら町道山面鏡西線に取り組むと聞いていたが、課題が多過ぎて、できるものでないような気がするが。答) 新たな課題も含め、従前からの課題とともにクリアしなければならないということです。早く取り組める方策を探していきたいと考えています。

問) 道の駅の出入りの利便性のため、信号機設置の要望はしないのか。答) 信号機の設置については再三要請していますが、一事業所の敷地への出入りのための設置はできないというのが公安委員会の考え方です。

問) 松が丘北側道路の計画がマスタープランにのったのはいつか。答) 平成9年に当初のマスタープランが策定されており、その時点からこの道路計画は挙が



っています。

問) 小口八重谷線の松が丘前の交通量はどのくらいなのか。答) 松が丘方面から国道477号交差点方向には、平日の12時間当たりで1万3,875台です。

主な意見として。

道路計画がなされているものの、課題等により進捗していないと見受けられる。今できることなど、住民のことを考え、早急に対応されたい。

本委員会は、去る12月10日午前9時より、委員全員出席のもと、第1委員会室において、町執行部より竹山町長、福山総務政策主監兼産業建設主監、西川産業振興課長及び関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

獣害について。

西川産業振興課長より、有害鳥獣被害(共済届け出分)の状況、侵入防止柵の設置状況、有害鳥獣の捕獲数等についての説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 侵入防止柵は集落、民家のところは除くようにということで切れているが、狭められてくると住居のあるところに出現してくるが、あけずに設置できるようにはないのか。答) 国の交付金を活用している関係から、農用地のみの設置という条件があります。

問) 侵入防止柵の設置率はどれくらいか。答) 率としては把握はしていませんが、予防ということではなく、被害が出たところから設置しているのが現状です。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

**○議長(蔵口嘉寿男)** 次に、教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○教育民生常任委員会委員長(古株克彦)** 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成26年12月19日

委員長 古株 克彦

本委員会は、12月11日午前9時より、第1委員会室において欠席委員1名を除く委員5名の出席のもと、町執行部より川部副町長、松瀬住民福祉主監、田邊福祉課長、嶋林健康推進課長及び各関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。今回は、今後における地域包括ケア体制構築に係る取り組み状況についての説明を受けました。

## 1、地域包括ケア体制（システム）構築の必要性。

背景は、在宅で暮らす高齢者、医療が必要な高齢者、介護度が重度の高齢者、男女それぞれひとり暮らしの高齢者が増加しています。

構築に必要な要素として、介護保険等の公的サービスのみで在宅生活を支えるには限界があり、自助・互助・共助・公助の役割分担の明確化を推し進めるとともに、その受け皿づくりが必要です。さらに、自立支援型ケアマネジメントを推進するとともに、その実践、研修、課題把握の場となる仕組みづくり、保険者のマネジメントが必要になってきます。

どのような仕組みが必要なのか。

医療が必要な高齢者や介護度が重度の高齢者についても、可能な限り在宅で生活できるよう支える仕組み。ひとり暮らしの高齢者や虚弱な長寿高齢者を在宅で支える仕組み。長寿化に伴い増加が見込まれる認知症高齢者を在宅で支える仕組み。入院しても、円滑に退院が可能となる仕組み。在宅でのみとりができる仕組み。本人や家族の生活の質の確保ができる仕組み。

以上のような背景・要素・仕組みづくりをもとに、総合的な支援事業が喫緊の課題として取り組みが必要です。

現在、いきいき竜王長寿プラン竜王町高齢者保健福祉計画の改訂を推し進めています。

## 2番、報告事項として。

東近江重症心身障害者通園施設第2くすのき施設整備に係る状況報告について。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要について。

以上の報告を受けました。

主な質疑応答として。

問) 地域包括ケア体制の構築の中で将来の竜王町の人口推移が第五次総合計画の人口1万4,000人への増加取り組みの数字と乖離した数値になっているが、連携した横のつながりはあるのか。答) 現状の人口の推移の見込みだけであって、高齢者が生き生き長寿の人生を送っていただくためにいろいろな施策を講じることによって、健康寿命を延ばし、人口減の歯どめの一端を担い、若い人にも魅力あるまちづくりを進めていきます。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決

めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対して質問がございましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第9 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長に報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成26年第4回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、去る12月4日から19日までの16日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位には、提案させていただきました数多くの案件につきまして、それぞれの委員会また本会議にて終始熱心にかつ慎重に御審議を賜りまして、本日全ての議案につきまして適切なる御判断をいただき、お認めを頂戴いたしましたことに衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

あわせまして、各委員会の場において、また一般質問におきましては、議員の

皆様が、目まぐるしく動く世にあつて、本町のあるべき姿、そして目指すべき方向等に関して御発言いただく中から熱い思いを持ってくださっていることがひしひしと伝わってまいりました。頂戴いたしました御高見、御意見はしかと行政経営に活かしてまいらねばならないと肝に銘じているところであります。今後とも格段の御指導、御鞭撻を賜りますよう、改めましてお願いを申し上げます。

さて、会期中に衆議院議員の総選挙が執行されました。結果は皆さん御存じのとおりであります。自民党が291議席、公明党が35議席を獲得し、自・公の政権政党として絶対安定多数を確保する結果となりました。選挙結果から見ますと、国民は経済成長を願っていることが歴然でありますし、アベノミクスと呼ばれる経済政策の効果が地方ではまだ実感が持てない実態でありながら、さらなる経済再生の進展を望む思いが今回の選挙結果となったものと思っています。

常々申し上げていることではありますが、戦後日本は目覚ましい発展をなし遂げてまいりました。そのことによりまして国民が今の豊かな生活を享受できていることは、どなたの目にも明らかなことでもあります。

右肩上りの成長経済から、今、日本は成熟社会にあると言われております。加えまして、世界最速で進む少子高齢化社会にもなっております。

かかる状況下にあります私に危惧いたします内容ではありますが、日本の国債のランクがまた1つ下がったということであり、国債の信用度、信用力が、国際競争力をあらゆる一番の尺度が下がったという状況であります。真の経済成長とは、全ての国民が実感でき、そして国債の信用度も上がってこそのものでないといけないと思っています。

アベノミクスが国民の期待する効果を発揮することで、真のデフレ脱出を果たし、行財政改革が一步でも進むことを新政府に望むものでありますし、そのことが国債の信用力を上げることにつながるものであり、強い日本への再生になっていくものと思っています。県選出の国会議員の先生方にしっかりと伝えてまいることいたします。

本町にありましては、新年度の予算編成にとりかかっておりますが、入るをはかりて出るをなすのことわざどおり、収入を見て支出とのつり合いを調整することが基本であるとわきまえています。

就任させていただいてより、何はさておいても財政の健全化を進めさせていただかねばならないとお伝えいたし、議会議員の皆様、町の皆様の御協力と御理解

を賜りながら、健全化判断諸指標の数値の改善に向かわせていただき、ようやくにしてその歩みが確かなものになりつつありますものの、一般会計、特別会計合わせての借金がまだ100億円残っており、これの返済が続くこと、扶助費の増嵩、町内各施設の老朽化に伴う維持管理費の増大、一方では、法人町民税率の引き下げで受ける減額の影響も大きく、ここ二、三年は試練の道になるものと考えています。

まず、平成27年度の予算編成では、持続可能な自治体として竜王町が押しも押されもしない存在に向かえる予算とすることを基本として編成作業に当たらせていただかねばならないと思っています。

平成26年を振り返ってみますと、悲喜こもごもの一年でありましたものの、平成27年は本町にとりまして60周年の一年であります。人の一生で申し上げますならば還暦に当たり、人が生まれた年のえとが一回りして戻ってくるおめでたい年と言われていています。町の皆さんにとりまして充実した一年になりますこと、そのためには何をすればよいのか、どういうまちづくりを皆さんが願っておられるのかをいま一度原点に戻って見直すことが私の責務ではなかろうかとも思っている次第でございます。

ことしも残すところ10日余りと押し詰まってまいりました。この一年、議員の皆様方には何かとお世話になり、御指導をいただき、御礼の申しようもございません。ここに心より感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

寒くなっていますし、気ぜわしい年の暮れでありますので、くれぐれもお体を御自愛いただきまして、体調を崩されませぬように、そして皆様おそろいで新しい年をお迎えくださることを衷心より念じ上げさせていただきます、まことに言葉整いませんが、閉会の御挨拶とさせていただきます。どうも会期中ありがとうございました。

○議長（蔵口嘉寿男） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今定例会は、去る12月4日から本日までの16日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席を賜り、提案されました重要な議案について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただきありがとうございました。本会議、委員会において各議員から述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願い

する次第であります。

さて、ことしを振り返ってみますと、消費税の増税の影響は、月日がたつにつれて景気後退へと推移し、まだまだ景気の底力が弱い実態となりました。アベノミクスのデフレ経済からの脱却もままならない状況となっています。

そうした中で、年末の解散総選挙が実施され、多くの国民が現政権を支持される結果となりました。しかしながら、極めて低い投票率が一方では国民の政治への無関心や期待感の喪失とも受けとめられ、危惧を感じずにはられません。このことは国政にとどまらず、我々地方議会においてもこういった状況を改善していく努力が大切であると思います。

また、8月から9月、人々の安眠を襲った広島豪雨や御嶽山の噴火や11月の長野県北部地震では、多くの被害や犠牲者が出るとともに、改めて災害への備えや対策を考えさせられたところです。私たちの日常生活において、常に身の回りに危機意識を持ち続けることが肝要であります。

今定例会では意見書の提出を決定いたしました。農業を基幹産業とする本町にとりまして、農家の経営安定や食料の安定供給のためにも米価の安定は極めて重要な課題であります。堅実な本町の産業構造の構築が求められています。

一方、念願でありました滋賀竜王工業団地では、日ごとにキャンパスの景色が変わるように重機の音とともに工事が進捗し、分譲も始まりました。本町にかなう企業の進出を期待するところです。

人口1万4000人、若者定住などの課題解決への扉は開かれましたが、現状は厳しいものがあります。消滅自治体の言葉のみが先走りし、そのことに翻弄されるのではなく、今この機会を逃すことなく勇気と決断を持って進むことが求められていると考えます。

竜王町議会では、議会基本条例にうたいます開かれた議会、身近な議会を実践すべく、町制施行60周年に合わせ、子ども議会の取り組みを通して議会の活性化を図ることとしています。気持ちも新たに一層研さんを積んでまいりたいと考えておりますので、執行部におかれましても御理解、御協力をお願いいたします。

ことしを表す漢字は「税」でありました。安全で安心して暮らせる潤いのあるまちづくりに、税は財源として欠くことのできないものであります。税は「ちから」とも読みます。迎える年こそ「ちから」強いまちづくりを望みます。

本年も余日少なくなってまいりました。日々慌ただしい中であって、改めてお出合いする機会も少なからうと思います。どうか、議員各位並びに執行部の皆様

におかれましては、この上とも御自愛いただきまして輝かしい新年をお迎えくださるよう心から御祈念申し上げ、まことに言葉足りませんが、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成26年第4回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後2時10分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 古 株 克 彦

議会議員 松 浦 博